

# 社団法人 長崎青年協会会報



発行/  
長崎市魚の町7-7  
(社)長崎青年協会  
会長 田代 博昭  
編集/広報委員長  
松尾 秀二

# 10

▲ぶどう狩り(家族懇親会)にて、楽しい一日でした。  
担当:  
会員交流委員会

●おくんち広場  
いよいよ開催  
10月7・8・9日

我々は会員の団結と  
相互扶助の精神の基に  
自己の建設と  
会員の親睦を図り  
もって地域社会の発展に  
寄与する事を目的とする

社団法人  
長崎青年協会憲章

本年度  
スローガン

Hand made Revolution

明日の長崎を築くための手作りの変革

# 9月例会

9月21日  
於：ホテルニュー長崎

## 会長あいさつ

田代博昭



皆さん、今晚は。例年にない厳しい暑さが続いた今年の夏も、さすがにお彼岸を迎えると朝晩めっきり涼しくなり秋の気配が感じられるようになりましたが、皆様、ごきげんいかがでしょうか。先月は、旅博おもしろ歴史クイズ・全体研修と全員の参加をお願いした事業を行ない、上半期の事業を締めくくることができました。旅博おもしろ歴史クイズは、新規事業ということで、担当者はかなりのプレッシャーがあったのですが、会員の団結・協力を得て、当初の目的を達することができました。また、全体研修についても、10年ぶりに大村月光の里で研修を行ない、当日は夜遅くまで楽しく語り、翌日は心暖まるお話を拝聴することができ、最後まで参加できた方は、きっと何か心に残るものがあったことでしょう。

青年協会の事業目的は、対外的にアピールすること以外に、事業を実施するに向けていろんな担当となり、多くを語り、汗を流し、一生懸命取り組むことで、憲章に掲げております会員の団結や相互扶助の精神を学び得る機会でもあります。仏教に、(無財の七施)という教えがあります。どんな貧乏人でも、また、寝たきりの重病人でもその心掛けによって、七つ、施しをすることができる。それは、ほほ笑みや、優しいまなざし、優しい言葉、感謝の言葉などほんのちょっとしただけでもできることです。わたしたちは、家庭においても、仕事においても、青年協会活動においても、自分自身気付かないだけで、まだまだ人に尽くせることがあると思います。最後に、今日の夫人同伴例会に奥様方、よくおいでくださいました。この後、講師としてお迎えしております、川頭信子様のご講演など今日の例会を通じて、青年協会をよりご理解していただき、今後とも協力・ご支援賜りますことをお願い致します。例会後の懇親会もありますので、最後までお付き合いをお願いして、私の挨拶にかえさせていただきます。

### ●青年協会 9月例会講師講演

## 「最近の子供たちを見ての家庭」

川頭 信子 (かわずのぶこ) 先生



今回の講演は、冒頭から元気が挨拶で始まり、川頭先生が以前から楽しみにしていたと言われるだけあって、大変熱のこもった講演でありまし

た。また内容も御婦人同伴の例会にふさわしく、身につまされた方が多かったのではないのでしょうか。先生はさまざまな子供たちの犯罪事件を通して、現代の子供たちのかかえている、さまざまな問題(悩み)及び、子供たちに対する親のあり方について話されました。

最近子供たちの犯罪がめだつようになり、子供たちの問題は内面的に深刻化しています。その環境は昔と違い、裕福な家庭環境の子供が増加しているそうです。非行内容も、万引などの非行から殺人など残虐な行為に及ぶ子供たちまで増えているということです。又、非行に走らずとも登校拒否症になったり家庭内暴力を起こしたり、ついには自殺にまで及ぶ子供たちが増加しているということです。その原因としては、親及び家庭環境が最も大きく、その中でも母親の占める力が最も重要だということです。子供が最も愛情を必要と

する乳児期から幼児期(0才~7才)にかけて、愛情の適時性がなされてなかったりすると、規範意識の欠如に陥ったり、自立性が覚める学童期(親離れの時期)に、過保護にしていると耐性の欠如に陥ったり、自己中心的な性格になったりして、子供の内面的部分にさまざまな問題(悩み)をひきおこすということです。そしてその歪が思春期において表面化し、ある者は表面的な要因が原因である家庭内暴力や登校拒否に走ったりします。いわば思春期こそが、親の子育ての結果がためされる時期でもあります。このように現代の子供たちのひきおこすさまざまな問題要因を考えて気付くことは、昔の子供たちと比べて現代の子供たちは体の発達と心の発達のバランスがとれていないということです。その結果、私達が理解出来ないような考えや、行動を子供たちがひきおこしているということです。最後に私達(親)が考えなければならぬことは、子供たちのこれらの問題をよく理解したうえで、子供たちの可能性をいかに活かしていくかということです。このことが私たち(親)に課せられた問題ではないのでしょうか。





## ◎たまには奥様の声

今回は、中村善人君の奥様に日頃のご主人を語っていただきました。

主人が、青年協会に入会して8年になりますが、私は協会の活動に参加したことが一度もありませんでした。しかし、先日、行なわれた夫人同伴例会に、初めて出席する機会がありました。

出席してみて特に印象に残ったのは、川頭先生のお話でした。私も二児の親として身につまされる思いでした。また、改めて親の責任の大きさを、感じる思いでした。それから、主人が手を上げ、会員の方達の前で話しをした時は、本当にびっくりしました。何か、主人の違う一面を見た思いがし、改めて尊敬してしまったりして……と、あまりほめると本人にもよくないので、ここで「中村家ヨリヨリ事件」を話したいと思います。

ある日、私がお菓子の「ヨリヨリ」を買うことになり、どこのお店の品がいいのか主人に聞いたところ、「ヨリヨリって何?」という返事。私は、主人のこの言葉にびっくりしてしまい、長崎



人のくせに、なぜ知らないんだらうと思いつつながら、主人にこのお菓子がどういうものか説明しました。

すると、「あっ、あのお菓子か。あれ、ヨイヨイって言うんじゃないのか?」と、主人。

私は、びっくりして目が点になってしまいました。この話しはこれで終りですけど、ほかにも、けっこう笑わせてくれる主人です。(反対に、私が笑わず事もあるんですがこれは秘密です)

いろいろな面をもっている主人ですけど、体には気をつけて、これからも仕事にまた、青年協会の活動にと、頑張つてほしいと思います。

## 【青春の黙示録】

## 一回限りの青春



昭和52年卒業

浅田五郎

今回、登場していただきましたのは、第一回目の協会卒業者で、今日多方面で御活躍なさっている浅田五郎先輩をお願いいたしました。

青年協会々報の五月号は風頭山から長崎港を見おろしている坂本龍馬の写真が表紙を飾っていました。

明治維新という大きな変革の基礎を彼等が中心になって創り上げたことは、誰もが評価している。しかし、まさか、龍馬がそんなに日本国を動かす、大偉業を成し遂げるなんて、と驚いたのは、土佐の身近な人達ではなかったらうか。

人は、ときとして大きな世界に躍り出た時に想像以上の力を発揮するし、大きな人物になることがある。龍馬の短い33才の生涯は、今なお国民的英雄として、又、スターとして、受け入れられている。その事は、まさに、一回限りの青春であり、その青春が、その後の日本の若者に夢を与え、可

能性に挑戦する大きな「よすが」になったことは、事実である。龍馬の銅像がゆかりの長崎に市民の力で建立されたことは、すばらしいことであるが、さて、平成の龍馬がこの長崎に居るのだろうか。長崎は明治の黎明期に比べると、かつての情報発進基地でもなく、学ぶべきものがないだけに、遊学の士もやってこない。龍馬の銅像を建立した人達は、単にこの像が観光の小道具としてだけでなく、この銅像を見て、平成の龍馬よ今いずこ、と叫んでいるのではないだろうか。そして一人でもそれぞれの分野に国を憂え、郷土の現状に涙する若者がいることを期待しているのではないだろうか。

青年協会の憂国の士よ、協会憲章の自己の建設・地域社会の発展に寄与するとは、何かを自らに問い仲間と痛飲しながら、ロマンを語り、一夜を明かす情熱を持ってほしい。丸山花月で若い遊女のひざまくらで天下国家を語り、夢中で自己を燃焼させた明治維新。

いま君達に、現在流で、青春を力強く生き、平成の龍馬なれと期待するところ大である。53才の今、青春の真只中の私の叫びである。

# 10月例会講師紹介

文芸評論家

日本精神科学研究所所長 **渡辺 寛氏**

## ★プロフィール

昭和17年満州に生まる。40年埼玉大学卒業後、角川書店に入社する。44年「俳句」50年「野性時代」の各編集長を務める。61年より日本精神科学研究所所長となり現在に至る。著書には、「流され王の居場所」「子規を見つけた」等がある。

## トピックス

### ザ・体験!!

「旅」博イベントの一つ中華大婚礼体験記!!

9月5日の中華大婚礼は、中国から取り寄せたさまざまな衣裳で着飾った総勢約150名の大行列で、観光客をはじめ街行く人の注目を集め、たいへんな数の見物客で賑わいました。

青年協会も行列に協力し、現役、OB合せて15名程の参加でした。この日の我々の担当は、花嫁のみこし(?)かつぎでしたが、暑さも手伝って、また衣裳も中国服と云うことで汗だくになりました。行列は、東亜閣前より始まり、アーケードを抜け、湊公園に入った訳ですが、この公園では、中国エンペラーを思わせる婚礼が、竜踊りや中国獅子舞等を混じえ、華やかに行なわれました。その後、旅博のメイン会場へ入り、そこで新郎新婦は伊王島へと新婚旅行へ旅立ちました。

思えば、キョンシーみたいな格好をし、ねり歩いたしんどい一日でしたが、またの参加を楽しみにしています。(田川孝之)

## おめでとう

- 山下一正君がご結婚されました。  
末永くお幸せに!
- 円能寺隆君に待望の赤ちゃん誕生!長女でアイちゃんという名を付けられたそうです。
- 今月の誕生者紹介  
丸尾隆君、池田郁志君、永田嘉晴君、松尾秀二君、木藤俊郎君、熊沢悟君、龍喜一郎君、田中裕人君、岡崎武彦君、梁瀬億則君、山本郁雄君、溝口章彦君、岡村一憲君、石川治君、浜本勝馬君、百田好秀君、池辺孝一君

\* 広報委員会では皆様からの情報をお待ちしております。身の周りの出来事など、また情報交換の場としても誌面の活用を考えておりますので、何かありましたら広報委員会までご連絡下さい。

# べっぴんさんいらつしやい!



船津美和

(23才)

月光園製茶(株)勤務

勤続1年4ヶ月

今月のべっぴんさんは、例会委員会井上章さんの会社に勤務されている船津さんです。

彼女は2人姉妹の妹さんで、雄羊座の女の子。本誌の取材で初対面の彼女は始めの内は口数も少なかったのですが、インタビューがすすむにつれて明るい笑顔でお話をしてくれました。

現在の夢は、海外旅行でヨーロッパに行ってみたいとの事で、そんな彼女はバレエを習って踊ってみたいとも考えています。好きなタレントは大江千里さんだそうで、彼のいつも前向きでガンバっている感じが好きとの事。明るくて活発な彼女、友だちも多いそうですが、前向きでガンバっている青年協会の独身諸君、一度アタックしてみても!!取材を終えて別れる際の顔が、本当にさわやかですてきな彼女でした。

## 思い出のアルバム



私は

誰で

しょう

答えは2Pの下です。

\*\*\*\*\*

## ゴルフ同好会

来る10月14日(日)、第3回田代会長杯ゴルフコンペを佐世保国際C.C(三川内)にてPM12:30スタートで5組確保しております。このところOBに優勝を取られてますので、現役会員、特に新入会員の参加を心よりお待ちしております。

幹事 田川(俊)・松尾(浩)

# ニューワード豆辞典

## 《クローン人間》

完全に同一の遺伝子を持ったいわば「別の自分」で、理論的にはこれによって自分の生命を永久に保つことが可能なのだそうである。始皇帝が求めた不老長寿薬の現代版と言えるものかもしれない。